

平成 29 年度文部科学省委託「幼稚園の人材確保支援事業」

「幼稚園の人材確保支援事業調査研究報告書」

全日本私立幼稚園連合会

幼稚園ナビ報告書 目次

第1章 調査研究の概要.....	2
1-1. 幼稚園における人材確保の現状.....	2
1-2. 幼稚園における人材確保の必要性.....	2
1-3. 調査研究の内容.....	3
第2章 調査研究内容.....	3
2-1. 幼稚園ナビ開発のための事前調査.....	3
2-2. 幼稚園ナビの戦略.....	5
2-3. 幼稚園ナビ開発プロジェクトチーム立ち上げとロードマップ.....	6
2-4. 幼稚園ナビの開発内容.....	7
2-5. 幼稚園ナビの特徴的な機能.....	9
2-6. 幼稚園業界独自の求人事情に合わせた対応について.....	9
第3章 調査分析.....	11
3-1. 幼稚園ナビサイトオープンまでの取り組み.....	11
3-2. 幼稚園ナビサイトオープン後の取り組み.....	13
3-3. 2018年3月末時点の利用状況（設置者）.....	15
3-4. 2018年3月末時点の幼稚園ナビ利用状況（利用者側）.....	16
第4章 調査結果から（次年度への課題）.....	17

第1章 調査研究の概要

1-1. 幼稚園における人材確保の現状

以下図1に示すようにここ5年分の保育士の有効求人倍率、有効求職者数は年々上昇しており、保育士の数は増えている。平成23年には有効求人倍率が1.36倍だったものが平成27年には約2倍にまで増えている。幼稚園教諭の同様のグラフは見つけられなかったが、直近では平均1.9という数字である（出典：職業安定業務統計（H28.2））。数値では保育士よりは低いですが、就職売り手市場が続いているため、幼稚園業界に興味を持っていた学生が、最終的に待遇の良い他業界に就職先を選ぶ状況が続いている。

保育士の有効求人倍率の推移（全国）

（参考資料1）

○ 保育士の有効求人倍率は、毎年1月頃がピークであり、直近の平成28年11月の保育士の有効求人倍率は2.34倍（対前年同月比で0.25ポイント上昇）となったことから、今後も例年より高い水準となるが見込まれる。

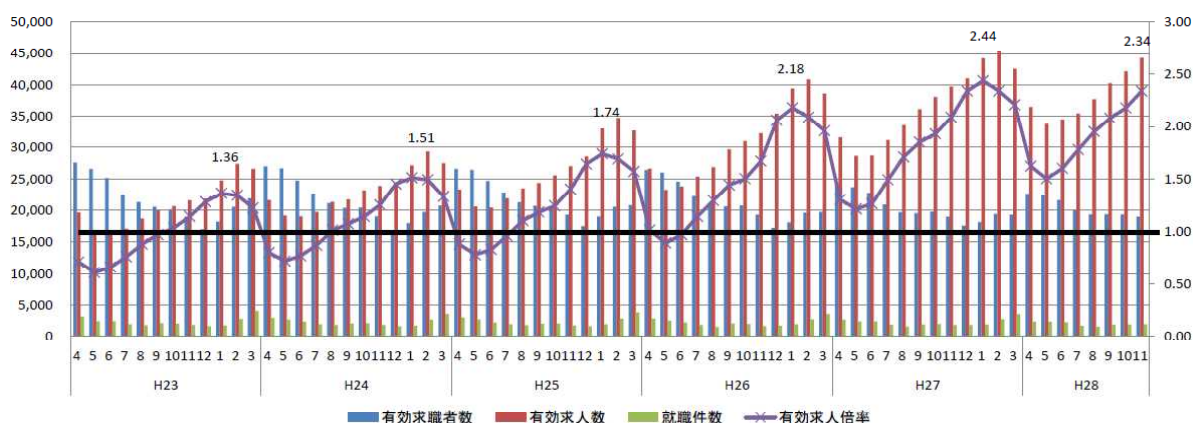


図1 保育士の有効求人倍率の推移

（引用 厚生労働省発表 保育士確保集中取組キャンペーン内資料）

また、目標を持って保育士・幼稚園教諭の資格を取り、就職したにも関わらず、給与や勤務時間などの問題があり長続きせず、結婚・子育てのタイミングで仕事との両立は難しいと判断して離職することが多い状況が生まれている。

1-2. 幼稚園における人材確保の必要性

上記で述べたように幼稚園教諭の有効求人倍率は保育士に比べ低い状況がずっと続いているが改善されてない現状がある。公教育を担う私立幼稚園が今後も社会的責任を果たしていくためには、安定的かつ持続的な人材確保のための事業計画策定と実施が急務となる。

1-3. 調査研究の内容

全日本私立幼稚園連合会では、幼稚園教諭免許取得者の人材確保に関する問題を解決するために「幼稚園ナビ」という幼稚園業界に特化した新しい総合情報サイト（求人・イベント・お役立ち情報）を立ち上げるプロジェクトを発足した。幼稚園ナビでは学生にとってメリットのあるアプリを提供し、イベント参加を通じて学生をいち早く幼稚園に興味を持ってもらい、実習から就職までのルートを作成し、就職後も研修履歴管理・免許期限管理など幼稚園業務に職員が普段使いできるアプリを開発した。次章ではサイトオープン後の現状についてまとめる。

第2章 調査研究内容

2-1. 幼稚園ナビ開発のための事前調査

幼稚園ナビの設計方針をまとめるために、幼稚園（保育）業界で利用されている大手の求人求職サイト2つ（**保育ひろば**：株式会社ネオキャリア運営、**保育士バンク**：株式会社ネクストビート運営）を調査し、機能や集客、強みなどをまとめた（図2）。この2サイトを選んだ理由はインターネットでの検索（幼稚園教諭、求人、地域キーワード）で上位表示されていること、インターネット上で広告をよく見かけたことが理由である。幼稚園ナビはこの2サイトの後発のサービスになるため、同じ攻め方は出来ないため戦略立案の参考にするために競合調査を行った。



競合1: 保育ひろば(提供アプリ)

専業主婦や新卒に多い求人を検索する「ほいっくまがお助けします！」
 母の変わり目になると訪れる園内の飾り物の製作、園児たちが好きなための新しいお遊戯やわらわらした保育など、
 保育士さんの業務外に楽しましなさいなさい(作業は結構ありますよ)！
 ほいっくまは、有名な保育士さんの「たいへん！」を克服した心と志がありました！
 制作物の産出のしやすさアップ「活動しやすい」が強みです！
 「活動しやすい」は、シーンや季節、目的などに応じて発本となる画像や動画を簡単に探せるのが特徴。サンプルのプリントアウトもできちゃいます。し
 りも、保育士さんがお遊戯の動画や作品を投稿すればお友達もゲットできちゃいます！



「ほいっくまシフトって？」

ほいっくまシフトは保育士・幼稚園教諭さんの忙しい予定を考慮して作ったシフトアプリです！
 それぞれの活動のシフトに合わせてスケジュール登録を簡単に、一緒にいるメンバーとのシフト調整やラフトと連動したアラーム、プライベートを楽しめる近
 タップと操作で美しい機能が盛りだくさんです！



保育ひろばの特長

1. 「保育士、就職」関係の検索
キーワードでまんべんなく集客
2. 業務に役に立つアプリを提供
3. お役立ちコラムで保育士の卵
にとって有益な情報提供
4. 報奨金、限定求人などで会員登録を
誘導

大手No.1サイトとして、お金を掛けて
ウェブ関係でできることは
すべてやっている印象

競合2: 保育士バンク



アプリは見やすく使いやすいそうです



保育士バンクの特長

厚生労働大臣認可の保育士専門転職支援サービス



サイトの出来(機能、デザイン、コンテンツ)や
集客力で保育ひろばに負けている印象
だが、アプリに力を入れて巻き返しを狙っ
ている様に見受けられる

図2 幼稚園業界向け大手求人サイトの特徴分析

競合サイトの特徴分析の結果から、比較結果と幼稚園ナビが攻めるべきポイント（図3）をまとめた。大手がお金を掛けて築いてきた求人サイトの知名度・集客力・利用者のインセンティブ（報奨金）と戦っていくためには、公認サイトの強みと養成校との連携と密に図れて、中高生から幼稚園業界に興味を持ってもらえる流れを作れるサービスが必要ではないかという結論を得た。

競合比較から見える 狙うべき道

	保育ひろば	保育士バンク	提案アプリ
知名度	◎	◎	X
集客力	◎	○	△→○ 公共的集客
求人件数	◎	○	△→○へ 件数を増やす
報奨金	◎	△	X
アプリ	◎ 業務支援	○ 求人アプリ	これから
提供エリア	全国	全国	福岡県

この状況で後発求人サービスとして、勝負していくためには養成校・大学等の学生の登録と幼稚園情報提供の形が望ましいと思います。

即ち

実習生・養成校、復帰希望者向け
県協会公認幼稚園情報アプリ

図3 幼稚園ナビの狙うべき戦略原案

2-2. 幼稚園ナビの戦略

前述したような求人サイトの方向性を実現するために具体的な戦略案を2つ考えた（図4）。一つは集客方法、もう一つは提供コンテンツ内容である。どちらも利用者（学生）

視点で、大手の求人サイトではなく幼稚園ナビを求人探しに利用してもらうために少しでも接点を多く持つための内容である。

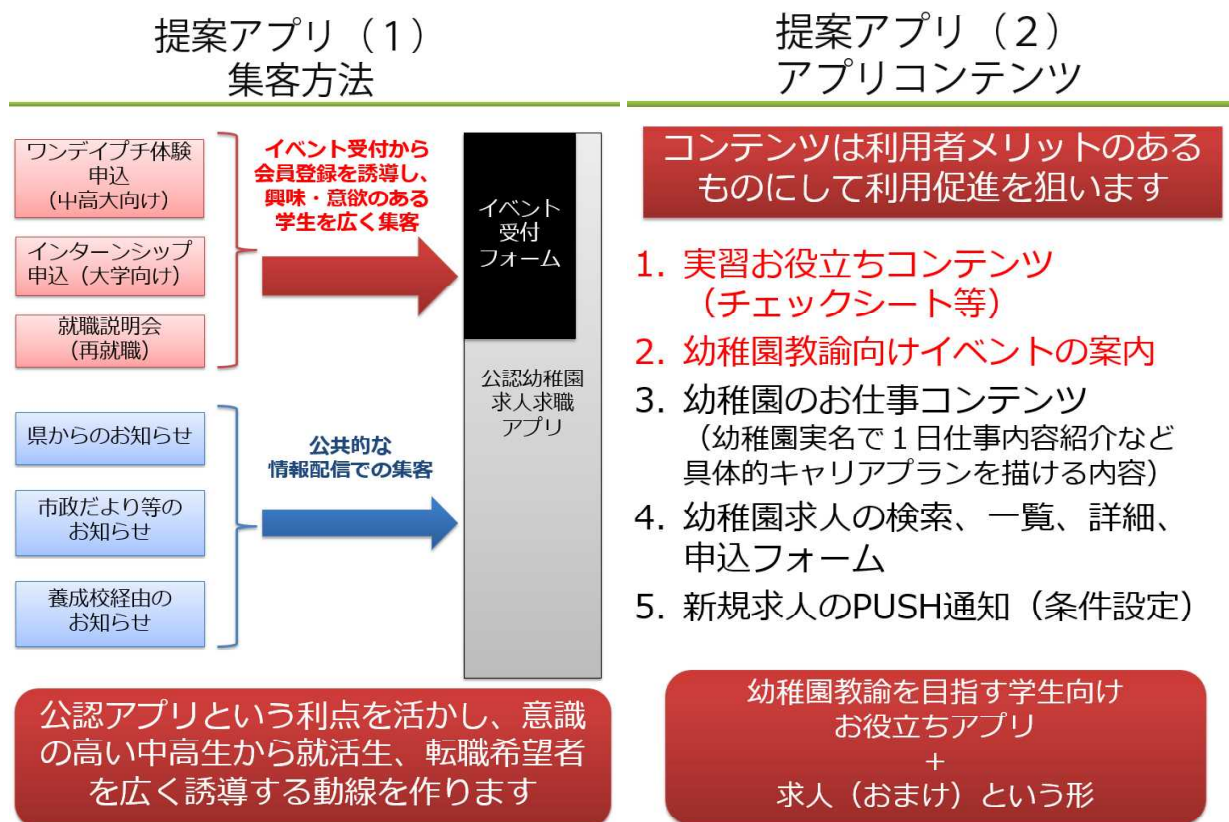


図4 幼稚園ナビ開発での具体的戦略

1つ目の集客方法では、求人情報を掲載するだけの求人サイトではなく、幼稚園を深く知ることが出来る各種イベントの申込と都道府県私立幼稚園団体事務局、本連合会からの各種お知らせを幼稚園業界に興味を持つ利用者に配信出来る仕組みをつくることを考えた。

2つ目の提供コンテンツでは、アプリ世代の学生が普段遣い出来るアプリを提供し、PUSH 通知で自分の興味のある幼稚園の最新情報をすぐに受け取れるようにすること、そして求人情報をあまり前面に出しすぎないサイト設計がいいのではないかと考えた。この2点の内容を実現するために開発ベンダーと意見を出し合いながら開発を進めた。

2-3. 幼稚園ナビ開発プロジェクトチーム立ち上げとロードマップ

幼稚園ナビの開発のため、以下の図5に示すようにスケジュール策定及び、プロジェクトチームを立ち上げた。開発ベンダーであるブラテックには、前述の戦略を踏まえた上でまず求人サイトに求められる必要十分な機能を搭載した「試作版」の開発を行っていただき、その後に幼稚園業界特有の事情 (後述)を反映した「全国版」を設計・開発し、10月頃からサイト稼働を行えるように工程表を提出頂き、開発状況を定期的に報告していただいた。プロジェクトチームではメーリングリストでのやり取りと定例会議

を利用してレビューを実施し、開発状況の把握と改善提案を行った。

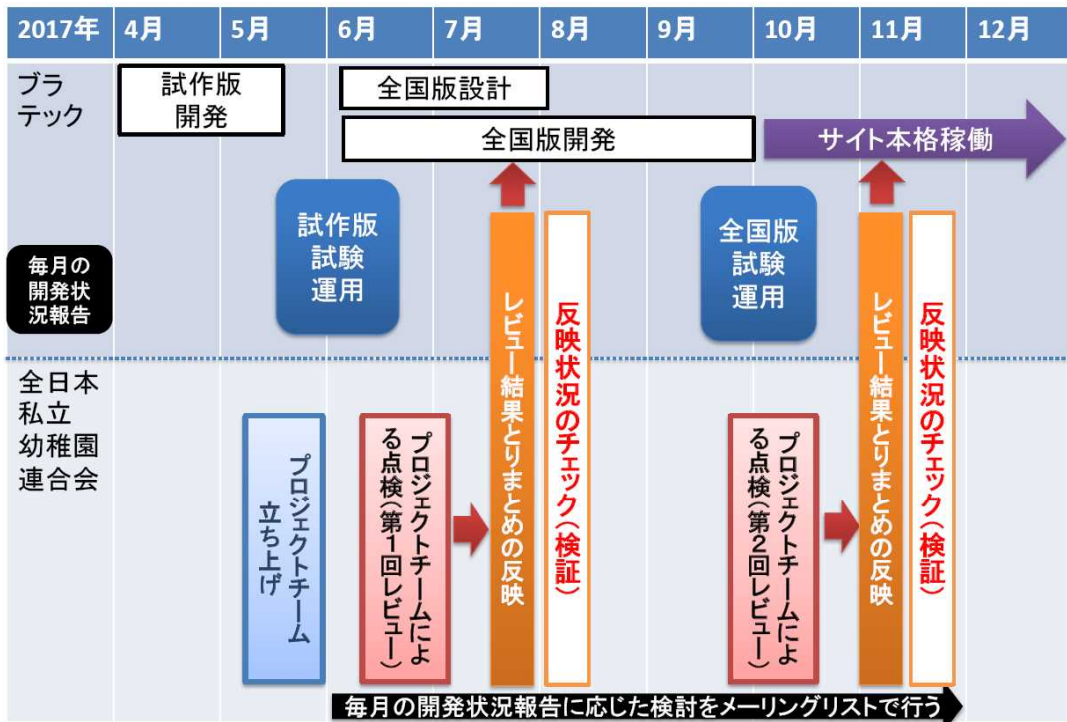


図5 幼稚園ナビ 開発スケジュール・プロジェクトチーム

2-4. 幼稚園ナビの開発内容

幼稚園ナビで目指すサービス全体像を以下図6に示す。

項目	内容
求職者の範囲	新規学生及び再就職希望者 (主婦等で現在働いていない人も対象)
求人者の範囲	幼稚園の求人全般 (教員・職員・運転手・栄養士、調理士・その他) 正規・パート・アルバイト・臨時・その他
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規学生 幼稚園をよく知ってもらう機能重視 幼稚園イベント、求人情報、お役立ち情報をアプリで提供 ■ 再就職希望者 就職に向けたマッチング機能重視 ポータルサイトでのマッチング ■ 幼稚園職員 免許期限管理・研修履歴管理
サイトの売り	<ol style="list-style-type: none"> 1) スマホ対応、学生が利用しやすいアプリ 2) 求人情報が大学・養成校に直ちに届くシステム(求人PDF生成) 3) 求職者登録が簡便な方法の導入 4) 多様な検索機能によるマッチングの促進 5) ハローワークと連携し、求人情報の自動掲載機能

図6 幼稚園ナビで提供するサービス全体像

幼稚園ナビでは求人については新卒、中途採用に対応し、幼稚園の求人全般のマッチングが可能であり、その求人につながる人材獲得（会員獲得）のため、幼稚園をよく知ってもらうためのイベントの紹介、応募が可能な機能を提供する。更には幼稚園業界を知るためのお役立ちコンテンツを提供するようなサイトを目指す方針で固まった。

また、プロジェクトチームでの議論の中で、図6内に赤字で示すような特徴的な機能を盛り込むことが提案された。免許期限管理、研修履歴管理機能については後述するが、その他にはハローワークに出されている幼稚園関係の求人情報の自動収集機能（求人数の確保と利便性の確保のため、ハローワークとのシステム連携を図る）や養成校が幼稚園ナビを利用したくなる機能として幼稚園が掲載している全国の求人情報から求人票（PDF）を自動できる機能など、就職採用関係者のかゆいところに手が届く機能を搭載していった。

以下、図7に幼稚園ナビで開発した機能一覧を示す。幼稚園ナビでは都道府県団体事務局向けの機能や養成校向けの機能を提供する点も特徴的といえる。

- **利用者向け(新卒、転職者・職員)**
- 求人情報閲覧
- 求人エントリー
- イベント情報閲覧
- イベントエントリー
- 求人・イベント情報メールマガジン受信
- **研修履歴管理機能**
- **免許期限管理機能**
- 求人・イベント情報PUSH通知(アプリ)
- **幼稚園向け**
- 求人登録
- 大学・養成校向け求人票のPDFメール送付機能
- 幼稚園のイベント登録
- 幼稚園PRコンテンツ登録
- スカウト機能
- **職員の研修履歴管理**
- **職員の免許期限管理**
- **大学・養成校向け**
- 求人一覧(閲覧のみ)
- 求人票のPDF出力
- エントリー一覧
- アラートメール(新着求人票の件数)
- **各県事務局向け**
- 園管理
- 求職者管理
- 事務局アカウント管理
- 求人情報管理
- イベント情報管理
- マッチング管理
- スカウト管理
- メール一括送信機能(公共的な情報配信機能)
- 研修管理(研修登録、研修参加者受付フォーム、一覧)
- 県を跨いだ求職者・求人情報の取扱いに対する配慮
- 在職者の求職システム利用制限機能

図7 幼稚園ナビの機能一覧

2-5. 幼稚園ナビの特徴的な機能

プロジェクトチームでの議論の中で幼稚園ナビが幼稚園業界で知名度を獲得していくには職員の利用率を挙げていかないといけない、そのためには職員が普段使い出来る機能が必要だという議論から以下の2つの機能（図8）を組み込むことになった。

特徴的な機能1 研修履歴管理

- 教員免許状は必ず10年毎に研修を受講して更新を受けなければならない。幼稚園教諭にとって更新講習は自動車の免許更新と同じように必ず受けなければならない、有効期限を管理することで期限切れを防ぎたい。
- 併せて、免許の更新だけでなく人権・同和研修や情報管理研修などあらゆる研修の履歴を管理したい。処遇改善へつなく。



特徴的な機能2 免許期限管理

- 免許の期限切れアラート通知機能（幼稚園、求職者）
 - ・ マイページから免許の期限情報を入力していただくと、期限切れの**6か月前**にメールでアラートを受け取ることが出来る。



図8 幼稚園ナビの特徴的な機能

どちらも今後、幼稚園業界で働きたい人材・働いている人材にとって欠かせない便利機能であり、幼稚園ナビの今後の発展はこの2つをどう職員に定着利用できるかにかかっていると考える。

2-6. 幼稚園業界独自の求人情報に合わせた対応について

幼稚園ナビを開発していく中で検討に時間がかかった点を述べる。新卒求人については、各都道府県によって採用フロー（マッチング機能、求人情報開示範囲、受験可能園数等）はまちまちのため、事情に合わせる必要がある。そのため、各都道府県単位で利用できる機能を制限したり、管理方法を設定できるようにする必要があった。この機能の開発のため、プロジェクトチームメンバーの方々から都道府県団体事務局の方々にはヒアリングしていただき、意見を集約して機能開発を進めた。

新卒求人の機能は養成校を通した従来の求人フローを踏襲する必要があり、関係者に幼稚園ナビで急にやり方を変えてしまうと、幼稚園ナビ導入の敷居をあげてしまうことになるため、養成校の要望も聞きながら開発を行った。具体的には以下図9の内容を設定できるように開発を行った。

機能	以下のどちらかを選択できます	
承認 フロー	a) 使用する 所属養成校の就職担当者の承認（メール内リンクをクリックもしくは管理画面のボタン押）がないと学生は求人応募ができません。承認前は応募幼稚園に応募があったことが届きません。	b) 使用しない 所属養成校の承認がなくても応募できます。応募するとすぐに幼稚園側に応募情報が届きます。

- また、新卒求人への複数受験許可について以下の設定から**都道府県単位で設定できます**。詳細はお付き合いのある都道府県団体事務局にお問い合わせ下さい。

機能	以下のどちらかを選択できます	
複数 受験	a) 認めない(1園のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・学生は1園ずつしか応募できません ・応募園が採用・不採用の合否判定を入力するまでは他園に応募できません ・不合格になったら他園に応募できます (*合格または内定を本人が拒否した場合は他園に応募できません) 	b) 認める(○園まで) <ul style="list-style-type: none"> ・設定上限園数まで学生は応募できます ・学生が合格園の中から1園を決めたら、その後は応募できません (*合格または内定を本人が拒否した場合は他園に応募できます)

図9 幼稚園業界独自の求人事情を反映した設定内容